

「第 9 回アフリカ開発会議」で横浜を世界に PR しました ～TICAD9 横浜開催への御協力ありがとうございました～

令和 7 年 8 月 20 日（水）から 22 日（金）にかけて、横浜市で第 9 回アフリカ開発会議（TICAD9）が開催され、アフリカ 49 か国の代表団を含む国内外からの多くの関係者が横浜に来訪されました。

横浜市は、市内企業や市民、関係団体・機関との連携により、この会議の成功に貢献するとともに、会議期間中のあらゆる機会を捉え、新たなグリーン社会に向けた取組をリードする横浜市の姿を世界に PR しました。つきましては、主な取組概要を御報告します。

【TICAD9 に向けた取組の方向性の柱】

- 1 TICAD9 開催を通じた「選ばれる国際都市・横浜」の世界への発信
 - （1）新たなグリーン社会に向けた横浜市の取組を発信
 - （2）ビジネス機会の創出・拡大
 - （3）国際協力の一層の推進
 - （4）世界で活躍できる次世代の育成及び誰もが暮らしやすい社会の実現
- 2 会議成功に向けたホストシティとしての貢献

1 TICAD9 開催を通じた「選ばれる国際都市・横浜」の世界への発信

（1）新たなグリーン社会に向けた横浜市の取組を発信

ア 国際的な PR

あらゆる機会を活用し、横浜市の気候変動に関する対応を含めた持続可能な都市づくりの知見と合わせて、GREEN×EXPO 協会と共に GREEN×EXPO 2027 の横浜開催について PR しました。

＜主な発信機会＞

- ・「Japan Times」TICAD 特集号に山中市長インタビュー記事掲載（8 月 19 日）
- ・総理大臣・横浜市長共催歓迎レセプションの開催（山中市長による挨拶、GREEN×EXPO 2027 の PR ブース出展）（8 月 20 日）
- ・横浜市の取組を PR するブースの出展（パシフィコ横浜 展示ホール内）（8 月 20 日～22 日）



総理大臣・横浜市長共催
歓迎レセプション

イ アフリカ各国代表の皆様と山中市長との面会（8 月 18 日～23 日）

アフリカ 22 か国の各代表と山中市長が面会し、横浜市からアフリカ各国に行っている技術協力の紹介や都市間の連携強化について意見交換するとともに、GREEN×EXPO 2027 の PR を行いました。



アフリカ各国代表の方々と
山中市長との面会

（裏面あり）



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



(2) ビジネス機会の創出・拡大

ア Japan Fair における「横浜ブース」出展（8月20日～22日）

JETRO 主催の企業展示会「Japan Fair」（約1万人来場）に「横浜ブース」を出展し、市内企業7社が都市課題や環境課題に資する製品やサービス等をアフリカ各国からの来場者にPRしました。



Japan Fair 横浜ブース

イ ケニア投資フォーラムの開催（8月20日）

ケニア政府と共に「ケニア投資フォーラム」を開催し、アフリカ進出に関心のある企業向けに、ケニアへの投資のメリットなどを共有しました。ウィリアム・サモエイ・ルト ケニア共和国大統領及び山中市長が登壇し、約170名が参加しました。



ケニア投資フォーラム

(3) 国際協力の一層の推進

ア 「アフリカのきれいな街プラットフォーム（ACCP）」

第4回全体会合の開催（8月20日、21日）

ACCP 第4回全体会合を、環境省、UN-Habitat 及び JICA 等と共催しました。オープニングセッションで山中市長が挨拶したほか、アフリカ各国が直面する廃棄物管理の課題に関する発表・意見交換を行い、横浜市からも廃棄物管理の取組を発表しました。今後の活動の指針となる「新・横浜行動指針」が採択されました。



ACCP 全体会合

イ リビア国環境大臣によるごみ焼却工場等の視察（8月22日）

イブラヒーム・アルアラビー・ムニール リビア国環境大臣（アフリカ環境大臣会合議長）が、急速に都市化が進むリビアで課題となっているごみ分別システムやリサイクルシステムの構築、工場建設に生かすため、ごみ焼却工場や資源選別センターを視察されました。



リビア国環境大臣による
資源循環局金沢工場視察

ウ 「Discover Tunisia」における横浜市の取組紹介（8月21日）

横浜青年会議所とテーマ別イベント「Discover Tunisia」を共催し、都市課題解決に関するディスカッションにおいて、みどりアップ計画、水道局の国際貢献など、横浜市の取組が紹介されました。



都市課題解決に関する
ディスカッション

(4) 世界で活躍できる次世代の育成及び誰もが暮らしやすい社会の実現

ア 次世代の学びの成果発表

・ACCP 全体会合（（3）ア参照）の初日に、市立みなとみらい本町小学校5年生が、SDGsの学習の成果をプレゼンテーションするとともに、SDGsの活動を広めるために自作した校歌を披露しました。



ACCP における
子どもたちのプレゼンテーション

・都筑区とボツワナの児童画交流を紹介するため、ボツワナの小学生の作品をテーマ別イベント会場にて展示し、ンダバ・ンコシナティ・ハオラテ ボツワナ共和国副大統領も作品を鑑賞されました。（展示期間：8月20日～22日）



ボツワナ副大統領による
児童画交流の展示鑑賞

（次ページあり）



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

- ・アフリカと日本の若者が共同で政策提言を行うイベント「Youth Drive」において、横浜市の「学生プロジェクト」で制作された動画を紹介したほか、プロジェクト参加学生が、実現させたい未来について発表しました。（8月20日）

イ 会議等運営での活動

横浜市内の学生等 32 人が、会議参加者への案内や、「Japan Fair」横浜ブースの来場者対応などのボランティアとして活動しました。（8月20日～22日）

ウ 次世代による会議参加者の歓迎

- ・会議初日の開会式に合わせ、横浜の子どもたちがアフリカ各国の首脳等会議参加者をお出迎えしました。（8月20日）
- ・横浜市会にて議場演説を行ったウィリアム・サモエイ・ルト ケニア共和国大統領に、ケニアとの交流を実施している市立横浜商業高校の生徒が歓迎の花束を贈呈しました。（8月20日）



子どもたちによるお出迎え



交通総量抑制のための看板

2 会議成功に向けたホストシティとしての貢献

（1）危機管理

7月1日に「横浜市警戒体制」を全庁的に確立するとともに、神奈川県警と連携した会場周辺の交通総量の抑制等を通じて、安全かつ円滑な会議運営に貢献しました。

（2）各国代表・参加者へのおもてなし

- ・総理大臣・横浜市長共催歓迎レセプションにて、アフリカ各国代表及び来場者を市長・副市長並びに日本・アフリカ友好横浜市議員連盟等がおもてなししました。

（8月20日）

- ・アフリカ各国代表等へ市内中小企業の製品を記念品としてお渡ししました。
- ・会場周辺のフラッグ装飾、みなとみらい駅構内サイネージ及びポスター掲出、横浜駅のポスター等掲出、コスモクロックの特別演出等によって歓迎機運を醸成しました。（8月）
- ・会場内に観光案内デスクを設置し、参加者に会場周辺及び市内の見所を紹介しました。（8月19日～22日）



アフリカ各国代表者等への記念品



会場周辺でのフラッグ掲出

（3）その他

ア 総理大臣夫人主催「配偶者プログラム」への協力（8月21日）

アフリカ各国代表の配偶者の皆様に「三溪園」及び「横浜ストロベリーパーク」に御来訪いただきました。市内で伝統文化を継承する団体等の協力で、能楽や茶道等の伝統文化を体験いただいたほか、市内の障害者雇用の事例を紹介し、共生社会に向けた取組が共有されました。



配偶者プログラム

（裏面あり）



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



イ 「第5回野口英世アフリカ賞」受賞者歓迎行事の開催（8月23日）
野口英世アフリカ賞受賞者をお招きし、「長浜ホール」で歓迎セレモニーを実施するとともに、旧細菌検査室を視察していただきました。また、医療関係者との意見交換会を実施しました。



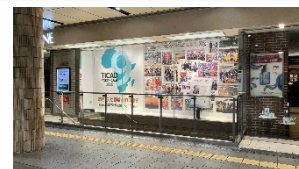
野口英世アフリカ賞
受賞者歓迎行事

【会期直前に行った取組】

上記のほか、会期直前には、市民の皆様や市内企業の皆様にアフリカへの関心を高めていただけるよう、アフリカの文化やビジネスに関する情報などに触れていただく機会を創出しました。

◆ 「アフリカ月間 2025」（7月～8月）

- ・市内商業施設や公共施設などと協力し、およそ2か月にわたりアフリカに関するキャンペーンを展開し、延べ84件のイベント等を実施しました。
- ・7月26日には「アフリカン ステージ～25 days to TICAD9～」と題して、アフリカにちなんだ音楽やアフリカダンスをはじめとしたステージイベントをクイーンズスクエアにて開催しました。各国大使館と協力してワークショップ等のブース出展も実施し約2,000人が来場しました。



商業施設との連携による
「アフリカ月間 2025」キャンペーン



アフリカン ステージ

◆ 横浜青年会議所主催「サマーコンファレンス」へのブース出展（7月19日、20日）

チャリティー活動としてケニアの布のハギレを使った小物販売を行う市立横浜商業高校の生徒とともに、TICAD9のPRブースを出展しました。



サマーコンファレンスへの出展

◆ 「アフリカビジネスセミナー」の開催（7月31日）

「環境配慮型ビジネスの新潮流」と題し、市内企業を含む4つの民間事業者による説明及びパネルディスカッション等を実施し、約120名が参加しました。



アフリカビジネスセミナー

◆ アフリカにおける女性のビジネス・起業の推進（8月14日）

TICADVを機にJICAとの連携で開始した「アフリカにおける女性のビジネス・起業の推進」研修で、男女共同参画社会の実現や女性起業家支援に向けた本市の取組について講義を行い、男女共同参画センター横浜を視察していただきました。



研修参加者による副市長表敬訪問



※ 写真データを希望される報道機関の方は、下記のアドレス宛にメールにて御連絡ください。

【国際局グローバルネットワーク推進課アフリカ開発会議担当 ki-ticad@city.yokohama.lg.jp】

お問合せ先

国際局グローバルネットワーク推進課アフリカ開発会議担当課長 菅井 亜紀子 Tel 045-671-4720



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

